

事件名：偽造入場券（部外秘情報）

発生日時：2011年12月初め

発生場所：名古屋市内

偽造券名：名古屋港水族館入館券

行使手口：詐取換金

鑑定結果：偽造券（高精度）

偽造名古屋港水族館入館券の鑑定マニュアル

発行：

編集：偽造通貨対策研究所（作成日：2011/12/23）

1. 全体写真：おもて面

真正券（ただし高校生券）

偽造券（大人券）



注) 1：偽造券では連続番号の位置が低い。

注) 2：用紙は真正券が生成り色であるのに対し、偽造券は漂白紙が使用されている。

注) 3：紙厚は真正券0.13mmであるのに対し、偽造券は0.115mmでややうすく、柔らかい。

掲載写真の拡大倍率

全体写真 × 1.6倍

部位写真 × 13.5倍

超拡大写真 × 120.0倍

撮影照明の光源

可視光 白色LED

赤外光 nm

紫外光 nm

2. 全体写真：うら面

真正券（ただし高校生券）

偽造券（大人券）

☆水族館の仲間たちからのおねがい☆

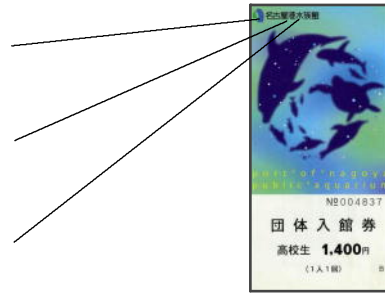
1. 指定場所以外での飲食・喫煙はご遠慮ください。
2. 生物保護のため、フラッシュ撮影はお避けください。
3. 館内での呼び出し放送はいたしません。
4. 入館前に、集合時間・場所等の確認を行ってください。

☆水族館からのおねがい☆

1. 再入館希望の方は、手の甲に再入館スタンプを押してください。
2. 指定場所以外での飲食・喫煙は、ご遠慮ください。
3. 生物保護のため、フラッシュ禁止の表示がある水槽の前でのフラッシュ撮影は、ご遠慮ください。
4. 館内での呼び出し放送はいたしませんので、入館前に集合時間・場所等の確認を行ってください。

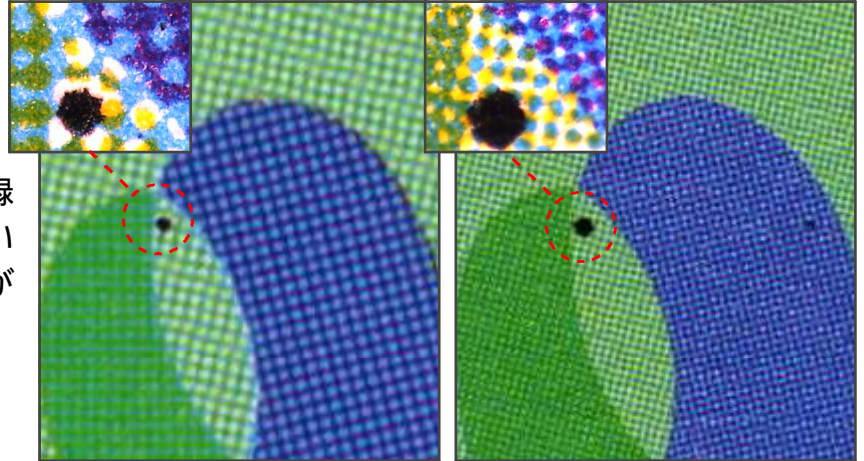
注）4：裏面は高校生券と大人券では仕様が異なっている可能性があり、印刷に関する検査を割愛する。

注）5：造り溜めした高校生券の偽造が第2弾として出回る可能性もあり、全体に注意を及ぼす必要がある。



3 . 網点デザインの差異その 1 真正券

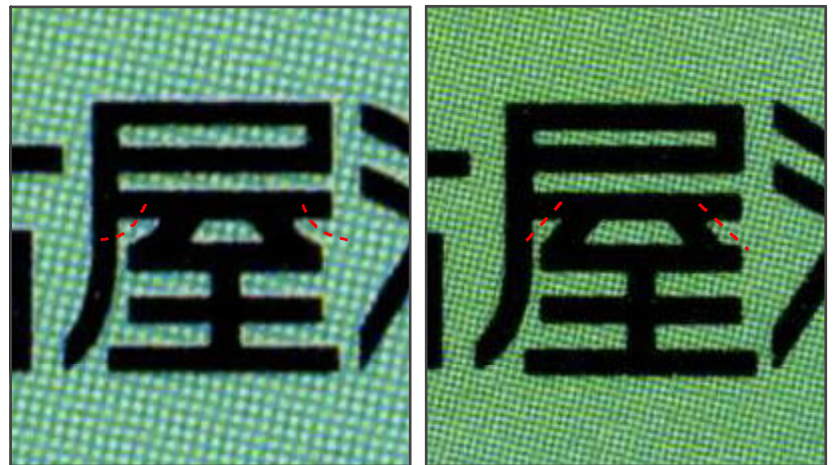
水族館のロゴマーク
と思われる青と緑のデ
ザイン部分の網点の格
子模様が、偽造券では
真正券より細かい。黄緑
色のバックの背景につ
いても偽造券のほうが目
が細かい。



4 . 「屋」字のかたち

「屋」字第5画、第6
画の文字画線について真
正券が湾曲しているのに
対し、偽造券は直線の表
記となっている。

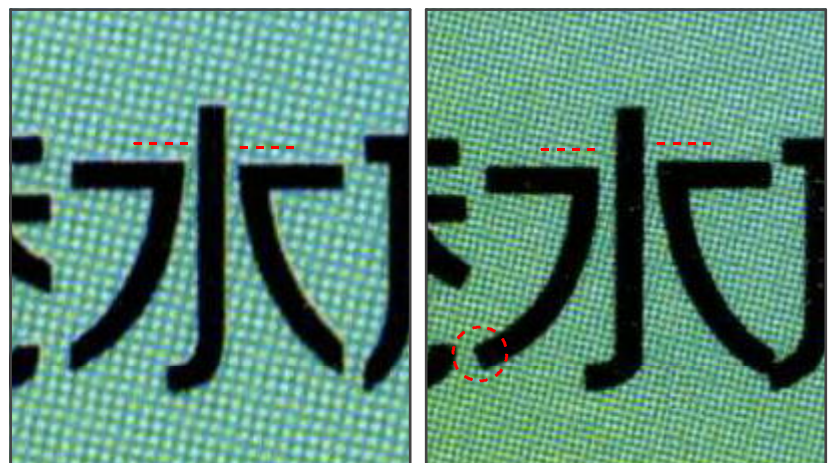
真正券



5 . 「水」字のかたち

「水」字の部品「フ」
の終筆部について、真正
券では先端が尖っている
のに対し、偽造券では角
ゴジックで止めの運筆と
なっている。偽造券では
「フ」の位置が低い。

真正券

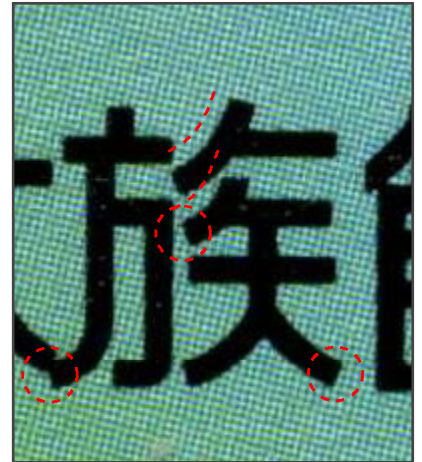




6 . 「族」字のかたち

「族」字の第4画、第5画、第7画及び第11画終筆部について真正券はその先端が尖っているのに対し、偽造券では角ゴシックで止めの運筆となっている。さらに第5画と第7画画線の湾曲具合が異なっている。

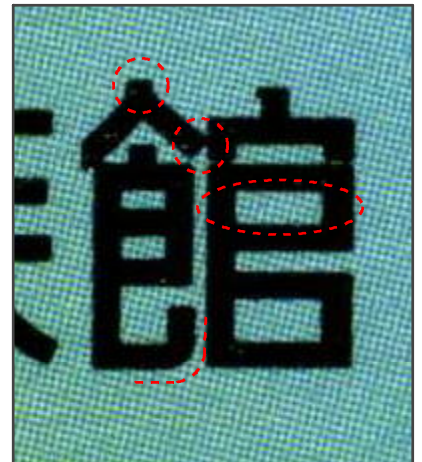
真正券



7 . 「館」字のかたち

「館」字の第1～2画の頂点のかたちが偽造券では「人」のように、尖っている。真正券では「へ」のように丸みを帯びている。第8画は真正券が丸みを帯びているのに対し、偽造券では角張っている。第12～14画の口は偽造券が大きい。

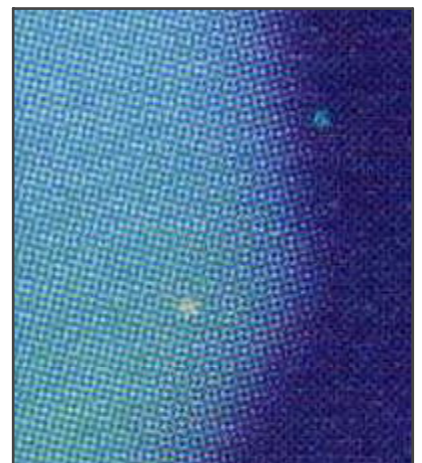
真正券

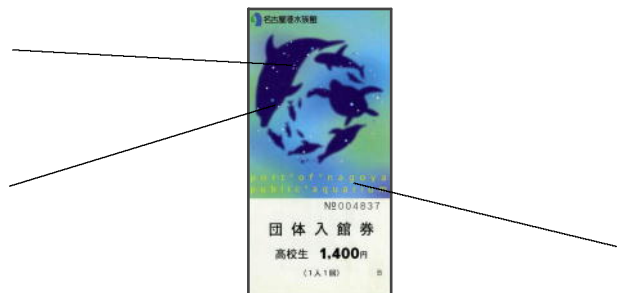


8 . 網点デザインの差異 その2

バックの背景とデザインされたいるかのデザイン部分の網点の格子模様が、偽造券では真正券より細かい。黄緑色のバックの背景についても偽造券のほうが細かい。

真正券





9 . 水玉状網点デザインの差異

真正券

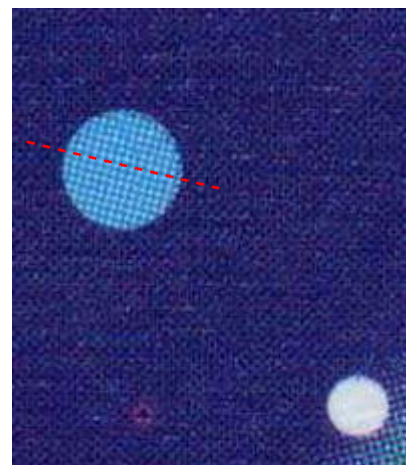
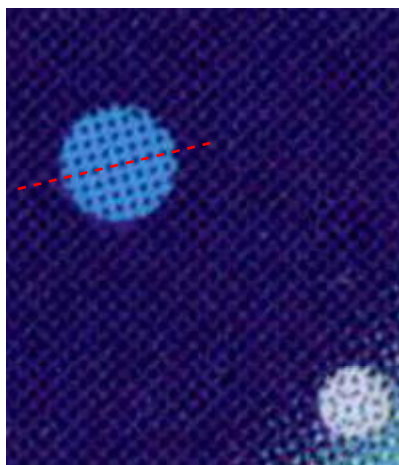
いるかの部分にデザインされた（気泡と思われる）水玉状の丸い印刷は真正券ではやや不鮮明と思われるのに対し、むしろ偽造券の方が鮮明に仕上がっている。



10 . 格子状網点の方向ズレ

真正券

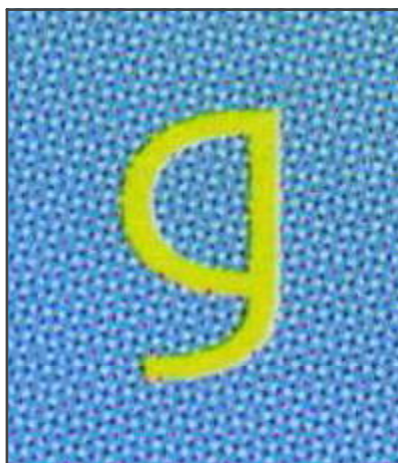
前項と同じく水玉の中に見られる網点に注目する。格子状の網点は真正券では左に傾斜しているのに対し、偽造券では右に傾斜している。



11 . 「g」字のかたち

真正券

nagoyaの「g」字の書き始め、ループ部分について、真正券は大きく、偽造券ではやや小さい。終筆部について真正券では緩やかな湾曲であるのに対し、偽造券では強く曲がり水平になっている。





真正券

12. 「a」字のかたち

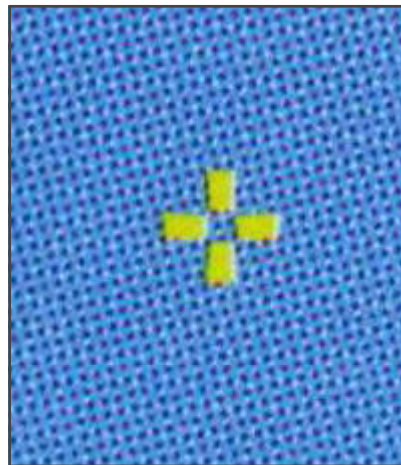
nagoyaの「a」字の書き始め部分が真正券では右下がりであるのに対し、偽造券では水平に書かれている。偽造券の方が鮮明に見える。バックの背景である網点についても偽造券のほうが目が細かい。



13. 画線の傾斜角度のズレ

+ のように見えるマークが文字の間にあり、真正券では長方形の箱がイメージされるのに対し、偽造券では台形の箱が4つあるように見える。

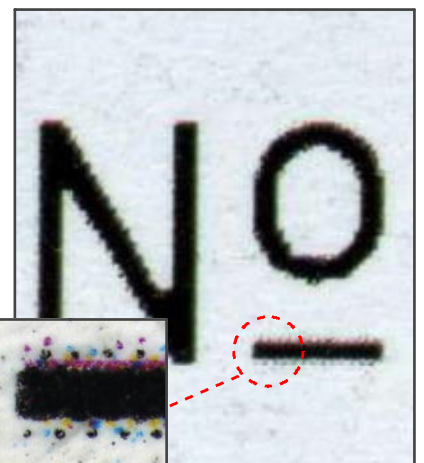
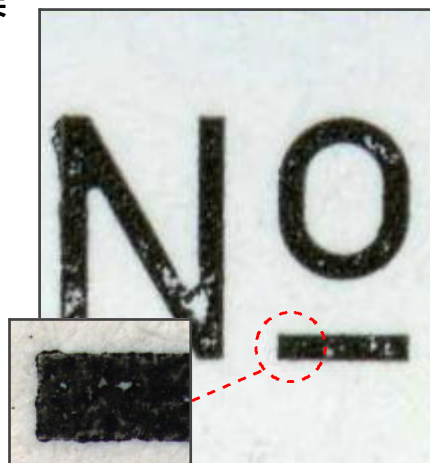
真正券

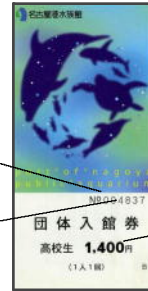


14. 印刷版式(方法)の差異

シリアル番号について真正券ではマージナルゾーンがあり凸版印刷と見られるが、偽造券では色分解の痕跡とインクの飛沫が見られることからスキャナーとパソコン用プリンターで印刷されていると思われる。

真正券

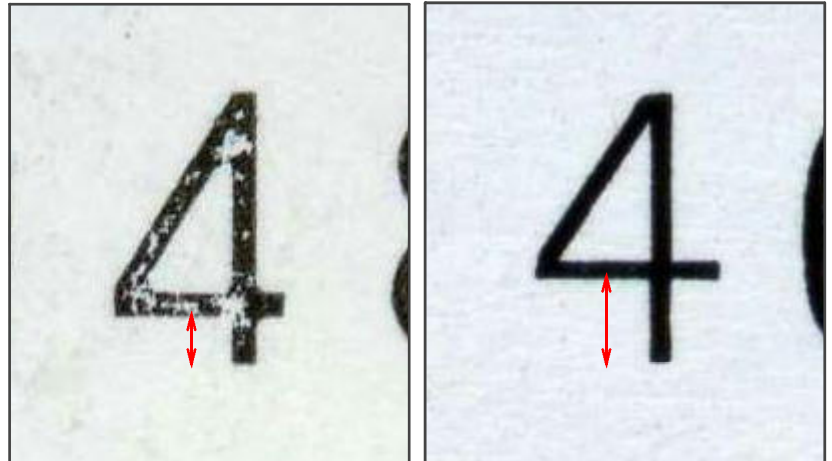




15. 連続番号「4」のかたち

シリアル番号「4」について、文字高はほとんど変わらないが、縦画線と横画線の交点について、偽造券ではかなり上に位置している。画線の太さについては偽造券が細い。

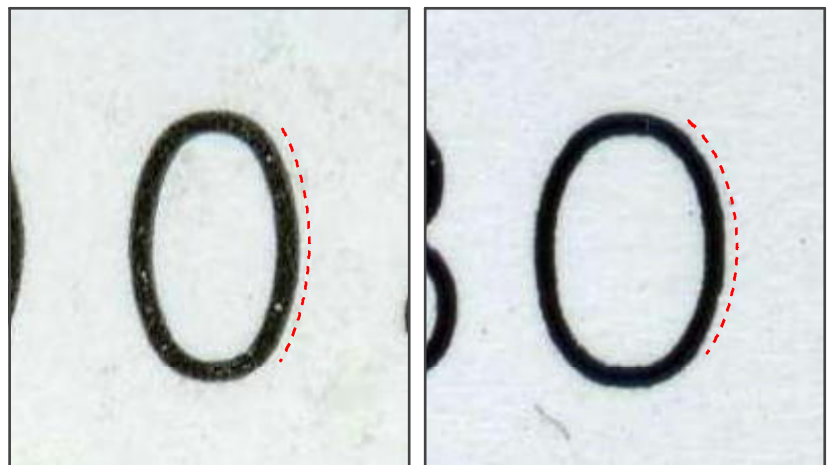
真正券



16. 連続番号「0」のかたち

連続番号「0」について、文字高はほとんど変わらないが、真正券に対し偽造券は横幅があり、やや太ったように見える。そのため画線の湾曲は真正券が緩やかに見える。

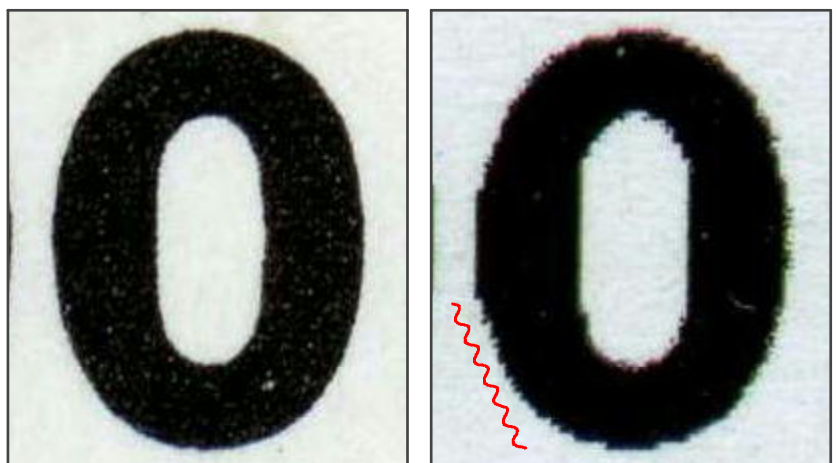
真正券



17. 金額「0」のかたち

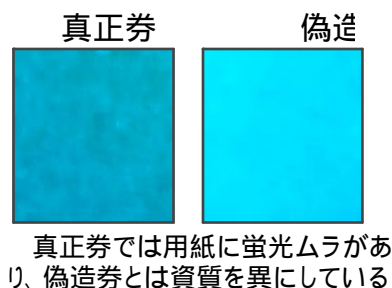
金額の「0」についても文字高はほとんど変わらないが、偽造券では湾曲部分にギザギザ感があり、スキャナーで読み取りパソコン用プリンターで印刷された可能性が考えられる。

真正券



18．紫外線の蛍光反応

表面
紫外線(ブラックライト)をあてると偽造券はその用紙が青白く発光する。対して真正券では発光は若干見られるものの、偽造券との差は歴然としている。



裏面
裏面も同様に偽造券はその用紙が青白く発光する。対して真正券では発光は見られるものの偽造券との差は歴然としている。



19．赤外線透過反応

赤外線を照射すると偽造券では表面の画像が消えて見えなくなる。しかしながら、真正券ではそのような現象は見られない。これは偽造券が赤外線を透過するインクを使用しているからと言える。(赤外線は人間の目に見えないのでTVモニターが必要)

赤外線は人間の目に見えないので、
認めるには赤外線センサーとTV
が必要である。

以上、
2011.12.23
発行者：
編集者：偽造通貨対策研究所

